



毎日バディと過ごすことで
スピーキング力が鍛えられるだけでなく
友情を深めることができました！

デザイン工学部 デザイン工学科 生産プロダクト系



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：マレーシア工科大学

自分は去年の春休みにアメリカ4週間のプログラムに参加したため、今回は2回目の語学研修でした。前回プログラムを通してスピーキング力が課題だと感じたので、今回はバディがつくマレーシア2週間を選択しました。長い授業時間に加えてバディと過ごす時間があり、スピーキング力を鍛えるのに最適だと思いました。積極的に話しかけてたくさん英語に触れようという意気込みで挑みました。

滞在期間中は、平日は午前中3時間、午後3時間の英語授業を受講し、テーマにそってディスカッションしたり、ゲームをしたり、ライティング課題を進めたりしました。わからないことがあるとバディが詳しく説明してくれたので、楽しく授業を受けることが出来ました。また、異文化交流では、伝統的な衣装や食べ物、ゲームなどを体験しながら、お互いの文化に対する理解を深めることが出来ました。そして、放課後はバディがディナーや観光スポットに連れて行ってくれました。はじめは少し緊張していましたが、バディがとても親切に接してくれたため、言語の壁に対する不安はほとんどありませんでした。バディやマレーシアでできた外国人の友達と帰国後もSNSを通して会話しています。また、一緒に参加した芝浦の学生とも、グループワークや観光を通して仲良くなることが出来ました。英語学習を一緒に頑張る仲間がいるということはとても心強く、自分の学習へのモチベーションにもつながります。今後も、語学研修で得た仲間とモチベーションを軸に、自分の英語スキル向上を目指したいと思います。



外国の文化に触れて考えが広がった

工学部 電子工学科2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否 : 可 ・ 不可 派遣マレーシア・マレーシア工科大学

外国の人とコミュニケーションをとることで 英語力を向上させたい、海外の文化を体感したいそう思ってこのマレーシア工科大学語学研修プログラムに参加しました。

ほとんど毎日午前8時から午後5時まで授業があり、授業内容は、単語やスピーキング、ライティングで単語のクイズ大会をしたり、毎日その日の出来事、感じたこと、学んだことを英語で書いたり、いろんなゲームをして楽しく学びました。最後の授業ではプレゼンテーションをやりました。授業のレベルは高校生1年生レベルです。アクティビティではバドミントンやバスケの大会をしたり、農業体験、工場見学、美術館訪問をしたりしました。2日間一日中自由な時間があり、バディにいろんなところに連れて行ってもらいました。授業が終わったあとも夕食に毎日連れて行ってもらいました。一人一人にバディがついていることでマレーシア工科大学の学生との交流が多くたくさん会話することができました。

2週間の短期留学でしたが、マレーシア工科大学の学生と話すことで英語を話す自信ができました。

バディにマレーシアのいろんなところに連れて行ってもらって、多くの経験ができた。海外の文化や宗教を知り、マレーシアの良さ、そして改めて日本の良さがわかりました。



行ってよかったあ！！！！

建築学部建築学科 2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先：マレーシア・UTM

約2ヶ月の長い夏休みを1年生の時はダラダラ過ごしました。とても後悔していました。2回目の夏休みは有効に時間を使いたいと考えていました。また、高校卒業から自分の英語力が格段に下がっていることに気づきながらも、勉強を始めない自分がいて、就職やこれからの人生を意識するようになり、自分の英語力に危機感を感じていました。以上のことから、語学研修プログラムの参加を決めました。

研修中は芝浦生一人ひとりにUTMの学生がBuddyとしてついてくれます。授業時間以外でも、Buddyがいてくれるので、困ったことがあればすぐに相談することが出来ます。マレーシアの方は優しい人が多く、自分のBuddyはもちろん、自分以外のBuddyとも仲良くなり、最終日には兄弟みたい仲良くなりました。

2週間という短い期間だったが、自分の英語力は上がったように感じます。プログラム最終日には、1日に比べて、Buddyとの会話がとてもスムーズになっていて、自分のことですが感動しました。また、他の学部、学年の友達ができ、これからの学生生活が充実しそうです。濃い2週間を過ごすことができ、行ってよかったと強く感じています。



単民族国家である日本人にとって、多民族国家であるマレーシアでの経験は、非常に興味深いものである

工学部 情報通信工学課程 情報工学コース1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先：マレーシア・UTM

・プログラムの全体的な満足度

個人的には、非常に満足した。バディ制度があるため、授業時間内、外ともに、バディと常に話すことになる。結果として、英語力が向上した。バディの質も高く、いわゆる「ハズレ」はないように見えた。「個人的には」というのは、逆に、バディと丸一日行動するため、自由時間がなく、それを快く思わない人も、周りにはいたからだ。自分がどちらのタイプか見分けて参加するのがおすすめた。また、衛生環境については、日本人(少なくとも私)からすると健康で文化的な最低限度を下回っていた。レストランでは食事にハエがたかり、トイレには紙がなくびしょびしょで、ベッドの上にはありがいる。ある程度、覚悟を持ってこないと、ここらへんはきついと思う。

・特に良かった点

単民族国家である日本人にとって、多民族国家であるマレーシアの様子は、非常に勉強になった。そもそも、バディ自体、牛を食べられないヒンドゥー教徒から、豚を食べられないイスラム教徒、だいたい食べられる仏教徒まで、幅広かった。しかし、その間に壁はなく、お互いが、お互いの宗教の事情を理解し、それを時にネタにしつつ、上手にくらしてきた。生まれながらに多様である彼らには、それが普通なのだろう。



誰でも気軽に参加できるプログラムでした！

システム理工学部 生命学2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム


■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先：マレーシア UTM

私は小さいころよく家族で海外旅行に行くことがありました。その際に言葉が詰まっても外国人と話す楽しさを知りました。この経験から、外国人とスムーズに会話してみたいと思いました。また、英語の必要性が高まっていると感じつつも、自分自身英語を話すことや書くことが苦手で中々勉強しても上達しませんでした。そのため、実際に現地に行って短期で語学を学ぼうと思い語学研修を決めました。

海外滞在中は現地のバディが個々についてくれるため、いつでも英語に触れることができます。授業では、困ったことがあったらいつでもバディに聞くことができます。授業の内容も私たちが楽しく英語を学べるように工夫されていました。授業後の自由時間では、バディがその土地のおすすめな場所やレストラン、私たちが行きたい場所に連れて行ってってくれるため、安心して楽しむことができます。授業日以外では、工場や農場、マレーシアの伝統的な文化を知ることができる場所、大学内ツアーなどに行き、貴重な体験ができます。

今回このプログラムに参加して、英語力の向上と交友関係が広がったと感じました。英語力に関しては、スムーズに英文を書けるようになりました。また、交友関係は、実際プログラムを終えたあともオンラインでバディと会話をするぐらい仲を深められました。参加生も帰国後に遊びに行くぐらい仲良くなれたため参加してよかったなと思いました。

語学研修と聞くだけで少しハードルがあるように聞こえますが、UTMは気軽に楽しく参加できるためおすすめです！



英語を口に出して話そうとするという習慣が
つきました。

システム工学部数理科学科 2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：マレーシアUTM

自分にとって初めての海外でとても緊張もありましたが、日本の空港から現地に着くまで手厚いサポートがあったので心配することなく行くことができました。

今回のマレーシアのプログラムでは一人一人にバディがつくのである意味強制的に英語を話さなければならない機会が多く、とても良い練習の機会となりました。今まで様々なことを勉強してきても、実際に話すということはなかなかなかったのもとても難しかったですが、自分が話した英語が現地の人に伝わる瞬間はとても達成感を味わうことができました。

滞在中は二日に一回ほど学校の教室で授業をして、ほかの日はフリーやスポーツなどを楽しみました。授業自体もゲーム形式のようなものが多く楽しく学ぶことができました。スポーツの日ではバスケットとバドミントンを行い、現地の人とも一緒に留学を言ったメンバーとも仲良くなることができました。バディはみな本当にやさしく、私たちが行きたいと思ったところを伝えればそこに連れて行ってくれるし、こんなことをしたいとか、これが困っているなどを相談したら真っ先に話を聞いて解決しようとしてくれました。二週間の時を経て、本当に大切な友達の一人のような存在となりました。

今回の留学先がマレーシアで本当に良かったと思えるような体験でした。



普段の生活で関わることのない
文化の違う人と知り合うことができました。

システム理工学部 数理科学科 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・UTM

私は将来海外の大学院で数学の研究をしたいと考えているので、一度は海外に留学をしたいと考えていました。しかしいきなり長期の留学に行く機会も勇気はなく、いつか行けばいいと考えていました。しかしこのUTMの2週間のコースは、比較的近場のアジアであるという点や2週間というとても短い期間であるという点から初めての留学でも気兼ねなく参加しようと考えられました。

このプログラムでは一人に一人のバディが付きます。このバディは現地大学の大学生であり、宗教や文化が違うとはいえ、近い距離間で接することができます。また基本的にはこのバディと夕食や自由行動を行うこととなります。勿論その際の会話は英語を用いて行うため、自分の伝えたいことが伝えられなかったり、バディが何を言っているのか聞き取れなかったりすることが頻繁に発生します。しかし基本的に全てのバディはとても親切であるので、言葉を聞き返したり再び違う言葉で伝え直すなどということができます。

またマレーシア工科大学は工科大学ということもあり、数学や科学を専攻しているバディも多く存在しています。そのため自分の専攻の話などを英語で話すという普段はあまりすることの出来ないことができます。実際私は自分の興味のある数学の分野について話してみたり、日本とマレーシアで教えられる数学の違いなどを知ることなどができました。その時に感じた点としては、単語さえ知っていればある程度の会話にはなることです。分からない単語などは類似している単語を代用することによって、厳密に言えばニュアンスが違おうとしても伝えたいことは伝えることができます。

この留学を通して、帰国してからも連絡をするバディができただけでなく、普段の大学生活では関わることのなかった他学年や他学科の芝浦の学生と知り合うことができました。再びこのような留学プログラムに参加して語学力の向上をしたいと思いました。